

2018年5月期 第3四半期 決算概要

- 人材需要は引き続き好調に推移。すべてのセグメントで増収となり、加えて NTT グループより株式取得及び事業譲受した人材派遣事業も貢献
売上高は 228,690 百万円（前年同期比 +11.3%）売上総利益も 48,015 百万円（同 +18.5%）
- 販管費は、効率化が進みコスト低減の実現と、退職給付費用の負担減により、
営業利益 3,857 百万円（同 +105.4%）経常利益 3,947 百万円（同 +119.5%）と大幅拡大
- 第1四半期で、負ののれん発生益を特別利益に計上する一方、一部の子会社で固定資産の減損損失の計上もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は 194 百万円

1. 第3四半期連結業績（2017年6月1日～2018年2月28日）

（百万円）

	2017年5月期3Q	2018年5月期3Q	増減	増減率
売上高	205,480	228,690	+23,210	+11.3%
売上総利益 (売上比)	40,530 19.7%	48,015 21.0%	+7,484 +1.3pt	+18.5%
販売費及び一般管理費 (売上比)	38,652 18.8%	44,157 19.3%	+5,505 +0.5pt	+14.2%
営業利益 (売上比)	1,877 0.9%	3,857 1.7%	+1,979 +0.8pt	+105.4%
経常利益 (売上比)	1,798 0.9%	3,947 1.7%	+2,148 +0.8pt	+119.5%
親会社株主に帰属する四半期純損益 (売上比)	△914 -	194 0.1%	+1,109 -	-

2. セグメント別連結業績（セグメント間取引消去前）

（百万円）

	売上高	前年同期比		営業損益	前年同期比	
エキスパートサービス（人材派遣）	118,715	+12,948	+12.2%	3,059	+2,225	+267.0%
インソーシング（委託・請負）	60,445	+5,023	+9.1%			
HRコンサルティング、教育・研修、その他	5,113	+528	+11.5%			
グローバルソーシング（海外人材サービス）	5,345	+768	+16.8%			
キャリアソリューション（人材紹介、再就職支援）	12,129	+1,344	+12.5%	2,115	+1,022	+93.5%
アウトソーシング	24,367	+2,413	+11.0%	4,272	+130	+3.1%
ライフソリューション	3,781	+388	+11.5%	187	+46	+33.2%
パブリックソリューション	1,761	+491	+38.7%	△1,072	△720	-
消去又は全社	△2,970	△698	-	△4,704	△725	-
合計	228,690	+23,210	+11.3%	3,857	+1,979	+105.4%

主要セグメントの増減理由

エキスパートサービス	サービス業やメーカーをはじめ受注増加。RPA ^{*1} など専門人材の育成が順調。法改正の影響に伴いスタッフの直接雇用が一部進む。
インソーシング	コンタクトセンター等を運営するピーウィズ(株)や、パソナ・パナソニック ビジネスサービス(株)も連携が進み働き方改革をサポートする職場環境の整備、オフィス革新のサービスなども伸び売上伸長。
グローバルソーシング	北米・インドネシア（DGS ^{*2} ）を中心に人材派遣が伸長。技術者育成で、ベトナムも伸長。
キャリアソリューション	人材紹介事業が引き続き好調。再就職支援のアセット相互利用で経営効率向上。
アウトソーシング	福利厚生事業は、堅調に推移。報奨金等をポイント化して管理・運営するインセンティブ事業も順調。ヘルスクエア事業も健診サービスが大幅拡大。

^{*1} ロボットによる業務自動化の取り組み（Robotic Process Automation）

^{*2} PT. Dutagriya Sarana（デュータグリヤ サラナ）

3. 財政の状況

(百万円)

	2018年5月期 3Q末	前期末比		増減要因
		増減	増減率	
流動資産	64,244	△373	△0.6%	現金及び預金の減少 3,169 百万円、 受取手形及び売掛金の増加 2,463 百万円、 有形固定資産の増加 4,413 百万円等
固定資産	34,855	+4,889	+16.3%	
資産合計	99,099	+4,515	+4.8%	
流動負債	50,523	+712	+1.4%	買掛金の減少 2,590 百万円、 短期借入金の増加 3,044 百万円、 長期借入金の増加 2,097 百万円等
固定負債	20,283	+3,572	+21.4%	
負債合計	70,807	+4,285	+6.4%	
純資産合計	28,292	+230	+0.8%	親会社株主に帰属する四半期純利益 194 百万円、 非支配株主持分の増加 417 百万円、 配当金の支払 447 百万円等
自己資本比率	19.0%	△1.1pt		

4. 2018年5月期（2017年6月1日～2018年5月31日）連結業績予想

2018年5月期の通期連結業績予想については、人材需要が引き続き旺盛であることやオペレーションコストの効率化などが奏功しているものの、足元、労働契約法の影響に伴い派遣スタッフの派遣先企業への直接雇用が一部進んでいることから2017年7月14日に公表した通期連結業績予想を据え置きます。

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純損益
2018年5月期 業績予想	323,300	5,650	5,600	1,000
2017年5月期 実績	280,395	4,488	4,319	△129
前期比増減率	+15.3%	+25.9%	+29.6%	—

四半期ごとの連結業績およびセグメント別業績データは <https://www.pasonagroup.co.jp/ir/data/quarter.html> に掲載します。

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。